

# 検査機器学

単位数：1 単位（30 時間）

責任者：檜山由香里・非常勤講師  
学年・学期：第1 学年・前期／後期

## ◆一般目標(GIO)

学内実習で使用される器具や機器類の基本的な取り扱いを学ぶ。また、その器具の特徴を理解し、的確な器具を使用して試薬調製を正確に行えるよう、手技の確立を目的とする。

## ◆到達目標(SBOs)

1. 目的に合ったガラス器具(フラスコ、ピペット)等の選択ができる。
2. 秤量装置の原理および取り扱い方を説明できる。
3. 分離装置の原理および取り扱い方を説明できる。
4. 攪拌装置の原理および取り扱い方を説明できる。
5. 測光装置の原理および取り扱い方を説明できる。
6. 自動分析装置の主な用途や種類を述べることができる。
7. 比色の原理および Lambert-Beer の法則が説明できる。
8. 試薬調製に必要な濃度計算ができる。
9. 顕微鏡の基本構造と技能および種類について説明できる。
10. 実際に染色標本を用いて鏡検することができる。
11. 顕微鏡の基本メンテナンスができる。

チェック

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

## ◆学習方法

実習形式で行う。必要に応じてプリント、スライドを使用する。  
また、共通機器の用途や顕微鏡の使用方法について修得する。

## ◆評価方法

出席点、授業態度、テスト、実技試験(OSCE)を総合して評価する。

## ◆教科書

臨床検査学講座 『検査機器総論』 三村 邦裕 他著 医歯薬出版(株)

## ◆参考書

| 回数                | 項目   | 講義内容                          | 担当               |
|-------------------|------|-------------------------------|------------------|
| 1<br>-----<br>2   | 総論   | ガラス器具の取り扱い、<br>秤量装置、分離装置、攪拌装置 | 檜山               |
| 3<br>-----<br>4   | 共通機器 | ガラス器具の取り扱い                    | 〃                |
| 5<br>-----<br>6   | 〃    | 濃度計算、試薬調製                     | 〃                |
| 7<br>-----<br>8   | 〃    | 吸光度計                          | 〃                |
| 9<br>-----<br>10  | 〃    | 顕微鏡装置 1) 基本構造                 | (株)オリンパス<br>専任講師 |
| 11<br>-----<br>12 | 〃    | 〃 2) 技能(標本観察)                 | 〃                |
| 13<br>-----<br>14 | 〃    | 顕微鏡取り扱い(復習)                   | 檜山               |
| 15<br>-----<br>16 | 〃    | pHメータの取り扱い                    | 〃                |